

# 平成24年3月期 第2四半期(中間)決算説明資料



平成23年11月



ハイライト	2頁	ATM台数の推移	7頁
損益状況	3頁	ATM利用者の開拓と設置場所の拡大	8頁
ATM受入手数料の要因別増減	4頁	資金調達の状況	9頁
ノンバンク取引推移	5頁	新サービスの状況	10頁
ATM利用件数と受入手数料単価の推移	6頁	配当政策	11頁

※参考資料については、当社ホームページからご覧いただくことができます。  
 ( <http://www.sevenbank.co.jp/ir/library/presentation/> )

本資料には、株式会社セブン銀行の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しています。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

## 【 2011年度中間決算 】

- ◆ 経常収益(443億円)、経常利益(157億円)ともに計画を上回り、前年同期比で増収増益
    - ～ ATM設置台数は16千台に
    - ～ 新規利用者拡大策も奏功
    - ～ ノンバンク利用件数の底入れ
- 

## 【 2011年度通期見通し 】

- ◆ 上期実績を踏まえ、通期計画を経常収益、当期純利益ともに上方修正

# 損益状況

(単位: 億円)

	10年度		11年度		11年度			11年度 修正計画
	実績	上期	期初計画	上期	上期実績	前年差異	当初計画差異	
<b>経常収益</b>	<b>839</b>	<b>431</b>	<b>868</b>	<b>437</b>	<b>443</b>	<b>12</b>	<b>6</b>	<b>881</b>
うちATM受入手数料	805	414	827	418	422	8	4	839
<b>経常費用</b>	<b>565</b>	<b>281</b>	<b>590</b>	<b>291</b>	<b>286</b>	<b>5</b>	<b>△5</b>	<b>600</b>
うち資金調達費用	20	10	20	10	10	0	0	20
うちATM設置支払手数料	93	47	98	48	49	2	1	99
うち業務委託費	142	71	151	75	74	3	△1	152
うち保守管理費	39	18	44	22	21	3	△1	44
うち土地建物機械賃借料	21	11	10	4	5	△6	1	10
うち減価償却費	116	54	127	60	57	3	△3	130
<b>経常利益</b>	<b>274</b>	<b>149</b>	<b>277</b>	<b>145</b>	<b>157</b>	<b>8</b>	<b>12</b>	<b>280</b>
特別損益	△4	△0	△0	△0	△0	0	0	△0
法人税等合計	109	60	112	59	63	3	4	113
<b>当期純利益</b>	<b>160</b>	<b>88</b>	<b>164</b>	<b>86</b>	<b>92</b>	<b>4</b>	<b>6</b>	<b>165</b>
期末ATM設置台数(台)	15,363	14,948	約16,300	約15,800	16,005	1,057	205	約16,400
ATM受入手数料単価(円)	135.3	136.9	131.2	131.9	131.7	△5.2	△0.2	131.4
平均利用件数(件/台/日)	112.3	115.4	111.9	114.1	115.1	△0.3	1.0	112.4
総利用件数(百万件)	609	310	647	325	328	18	3	655

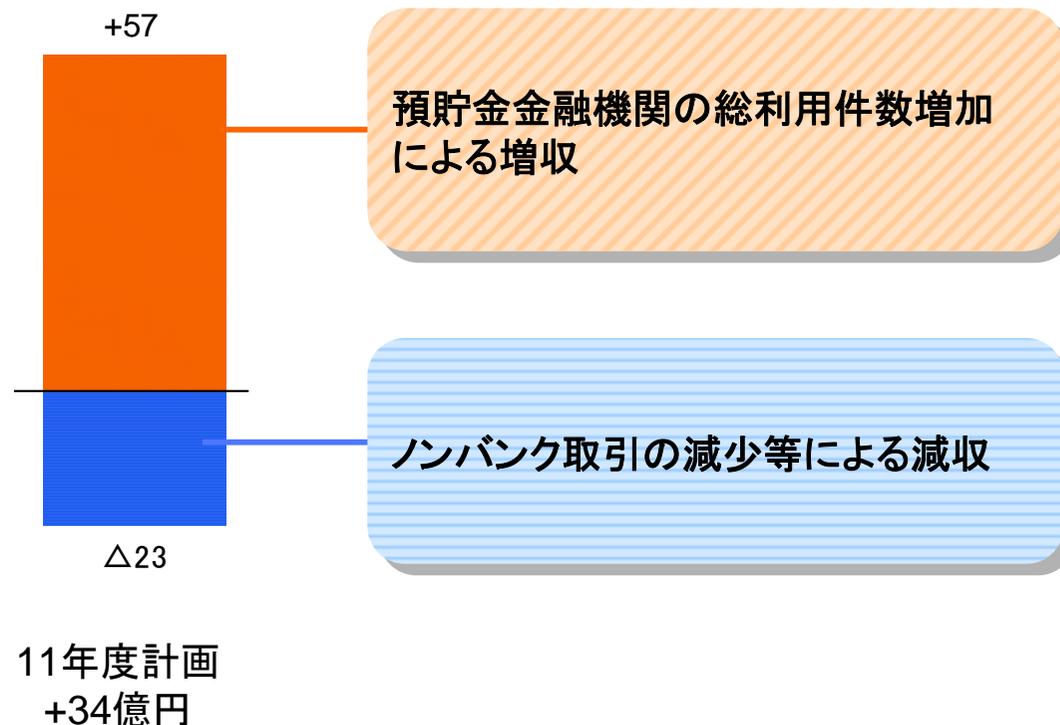
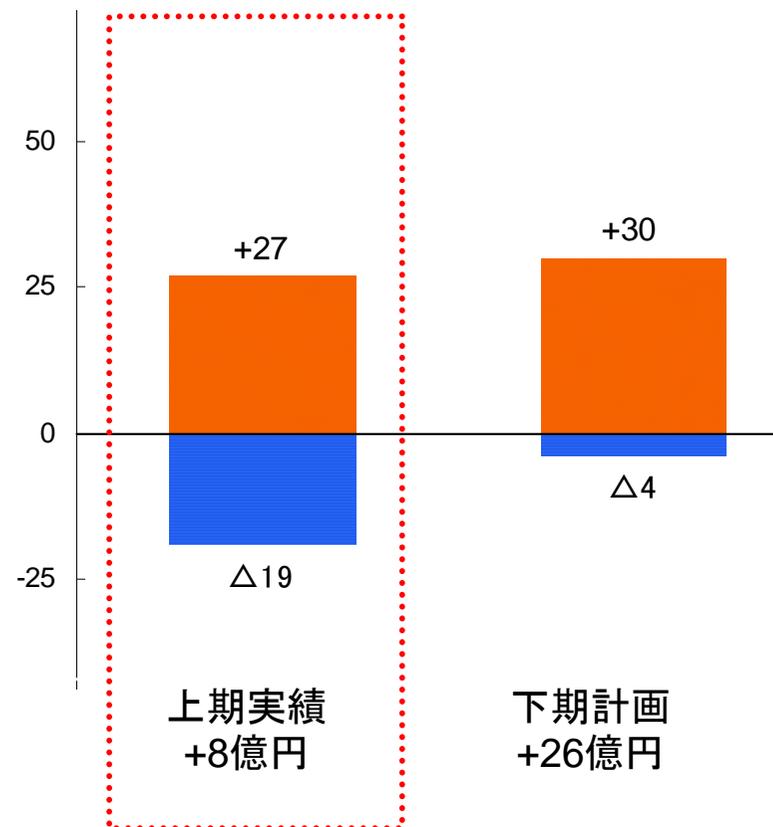
注 計数は全て単位未満(ATM受入手数料単価、平均利用件数は小数点第1位未満)切捨て  
前年差異及び計画差異は億円単位(総利用件数は百万件単位)で比較

## 上期の実績はほぼ計画通り推移

- ・ 預貯金金融機関取引の伸びによる増収分がやや増加
- ・ ノンバンク取引の減少による減収は続くものの、減収幅は改善

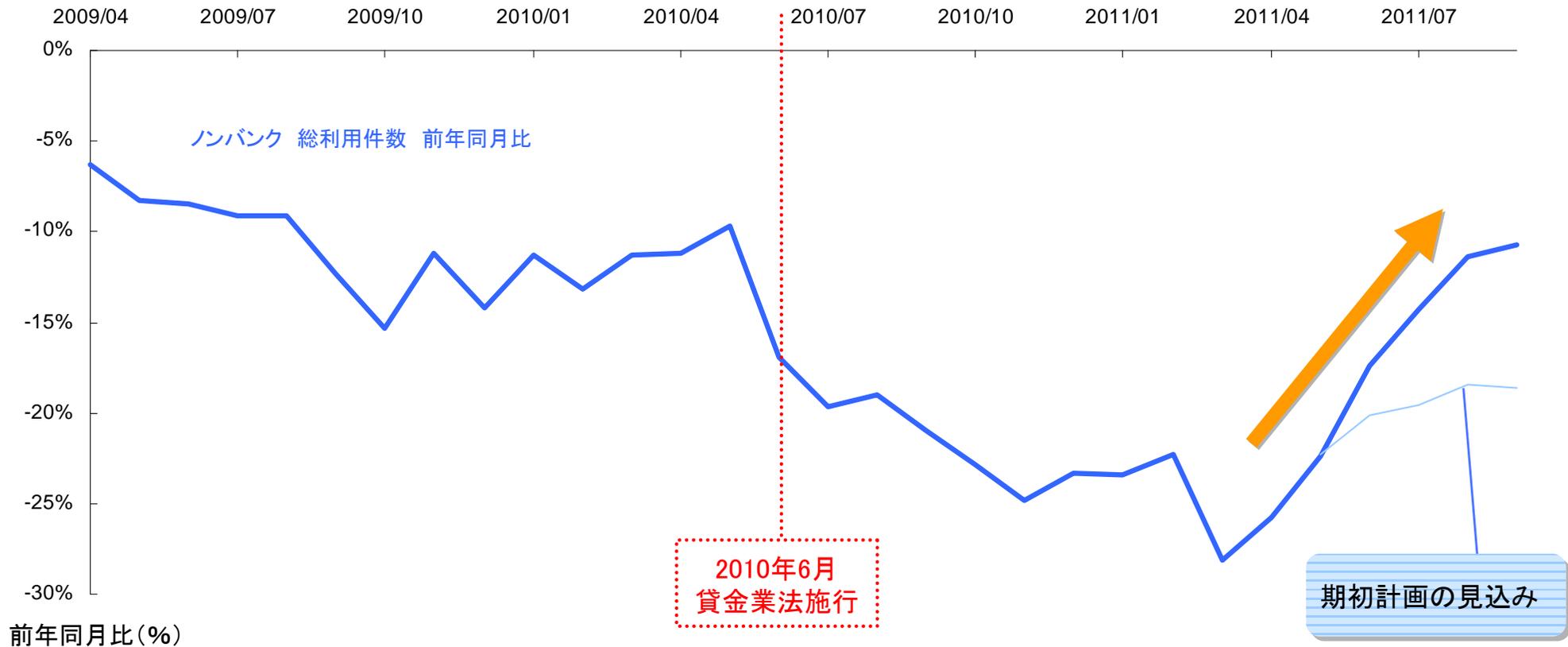
### 前年同期間比

(億円)

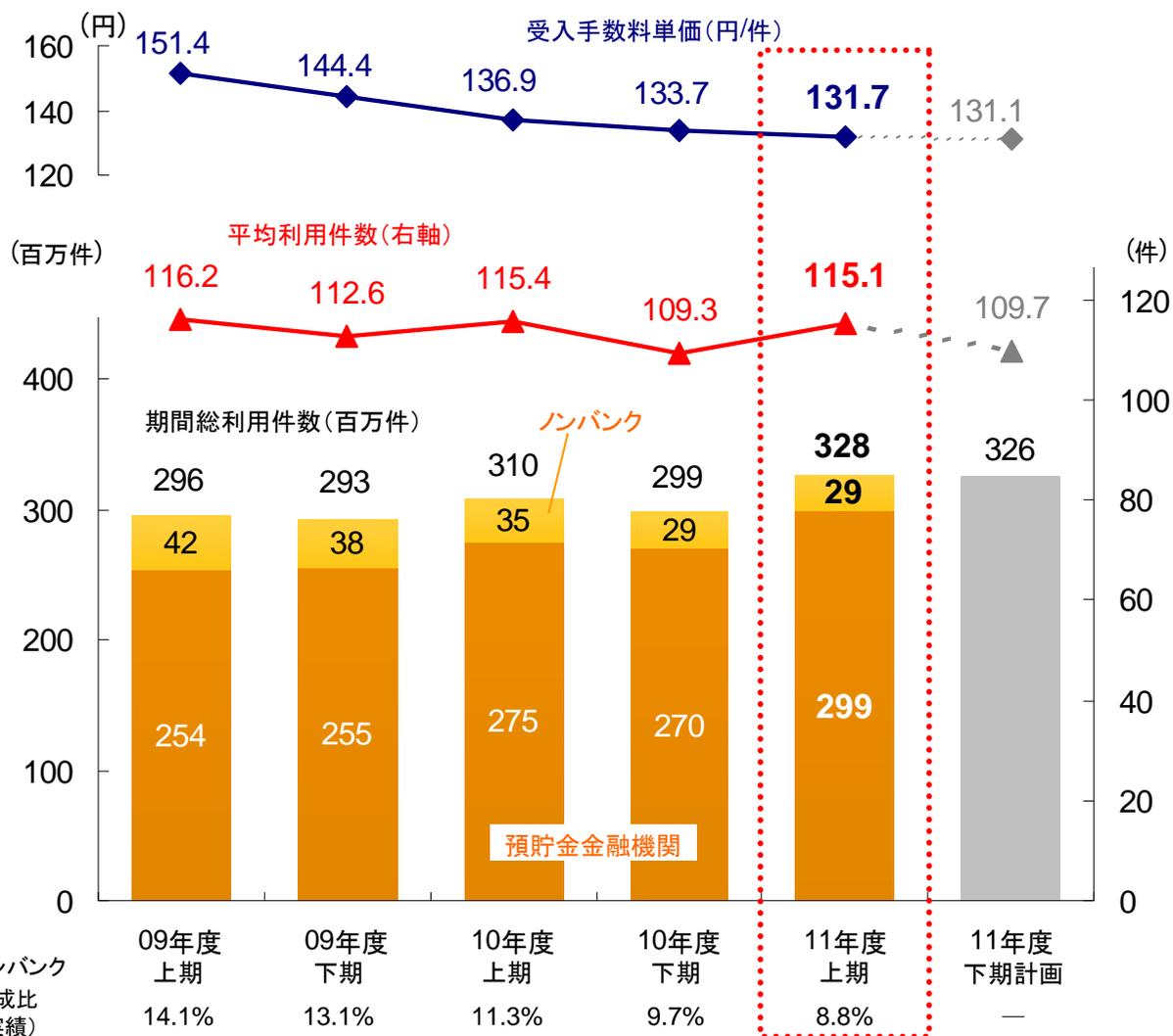


- ・ 2008年度下期からノンバンク利用件数は前年比減少
- ・ 今年度に入り、前年比減少幅は改善傾向

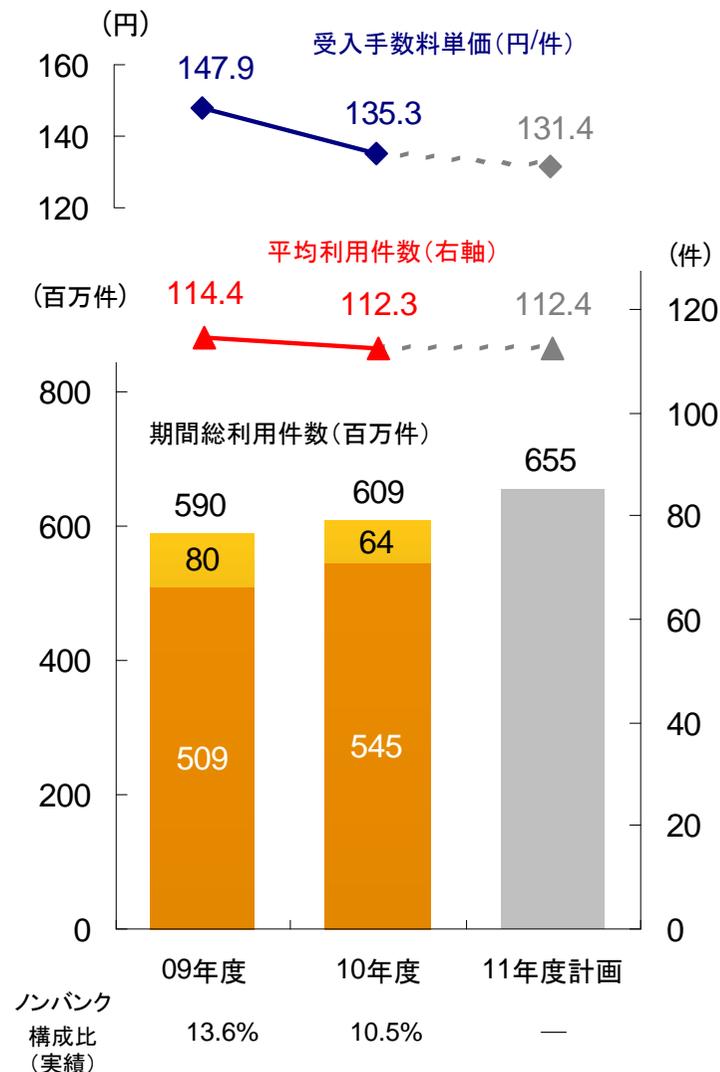
## 取引件数 前年同月比推移



## 半期推移

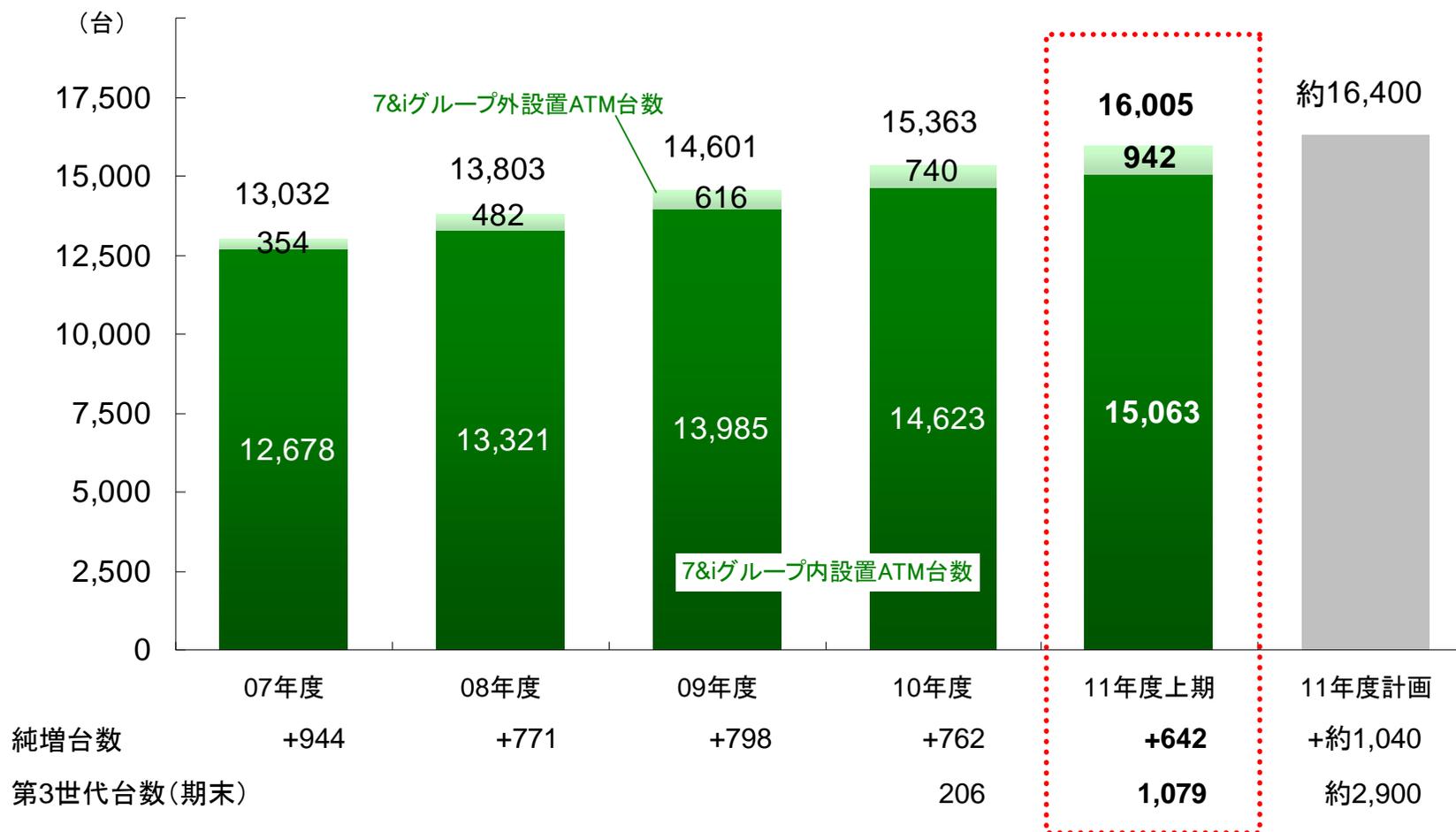


## 年度推移



注1 平均利用件数、総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず  
 注2 期間総利用件数は単位未満切捨て、平均利用件数、ATM受入手数料単価、取引件数構成比は小数点第1位未満切捨て  
 注3 ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上入金等>)で算出  
 注4 本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、その他金融機関の合計

- ・ ATM台数はグループ内外とも順調に増加（期末設置台数の計画を100台プラス）
- ・ 2011年度中の第3世代ATM入替台数は、当初の約1,200台から約2,500台へ変更



「近くて便利なATM」の更なる認知向上や設置場所の積極的な拡大により、総利用件数の着実な増加を図る

## ■新たな利用者の開拓・拡大

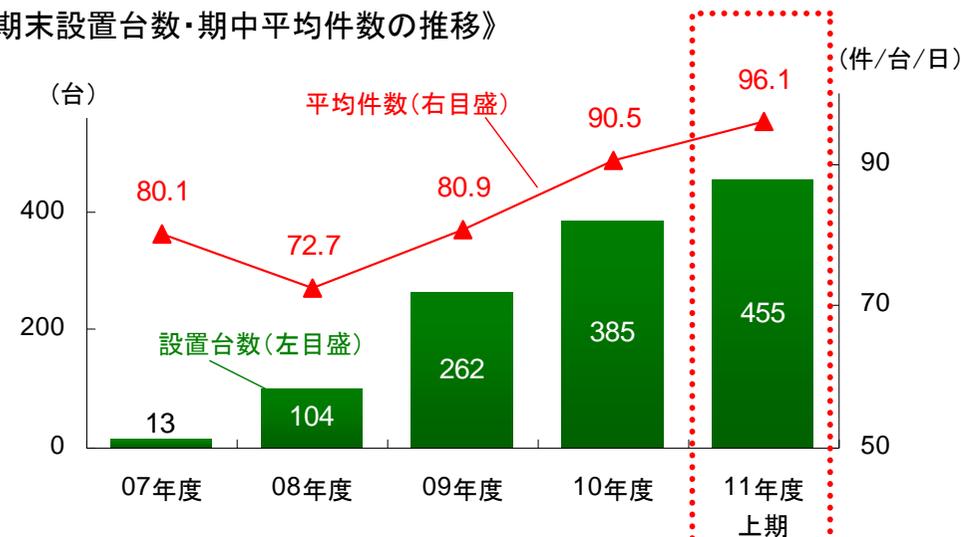
- ・潜在ニーズの掘り起こし
  - ⇒提携先、セブン-イレブンとの共同キャンペーンを実施
  - ⇒引き続き下期もキャンペーンを計画
- ・ATM提携先の拡大
  - ⇒上期は3行と新たに提携  
(SBJ銀行、福岡中央銀行、長崎銀行)
  - ⇒下期もセブン-イレブン未進出地域の金融機関等へアプローチ

## ■設置場所の拡大

- ・グループ外設置の強化
  - ⇒大和証券本支店への設置完了(約140台)
  - ⇒首都圏・大阪圏の商業施設を中心に設置交渉、展開を進めていく

## ■グループ外設置(除く証券会社)の状況

《期末設置台数・期中平均件数の推移》



《設置場所の内訳》

	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度上期
空港	9	22	30	30	33
駅・交通系	1	24	61	71	78
<b>商業施設</b>	—	32	115	196	<b>237</b>
その他	3	26	56	88	107
合計	13	104	262	385	455

## 貸借対照表

(単位: 億円)

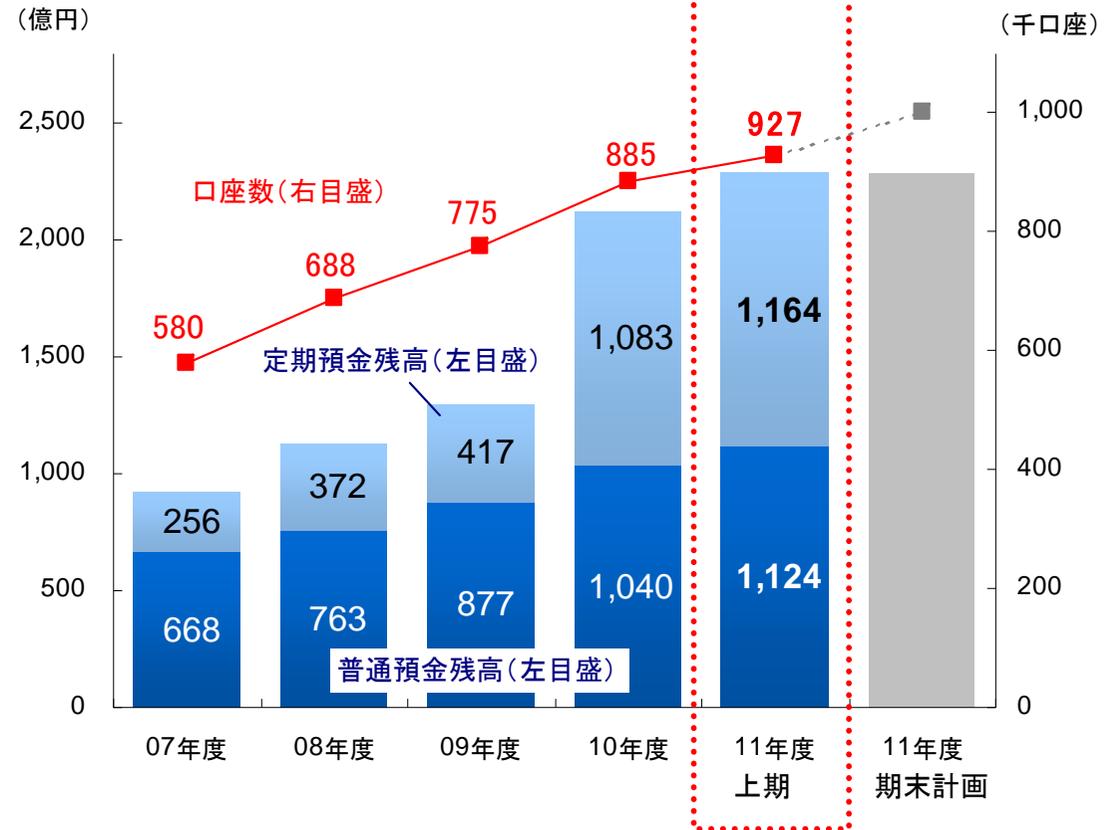
現金預け金 3,328 ①	流動性預金 1,762
	定期性預金 1,536
有価証券 1,097 ②	社債・借入金 1,100
ATM仮払金 792 ③	ATM仮受金等 292 ④
	その他 139
その他 820	純資産 1,207
資産 6,038 (+38)	負債+純資産 6,038 (+38)

- ①ATM装填用現金
- ②主に為替決済、日銀当座貸越取引の担保
- ③ATMの出金に伴い一時的に発生
- ④ATMの入金に伴い一時的に発生

## 高い財務健全性と信用力

単体自己資本比率(国内基準) 53.02%(速報値)  
 格付(2011年9月末現在) S&P AA-(長期発行体)  
 R&I AA(発行体)

## 個人の口座数と預金残高の状況

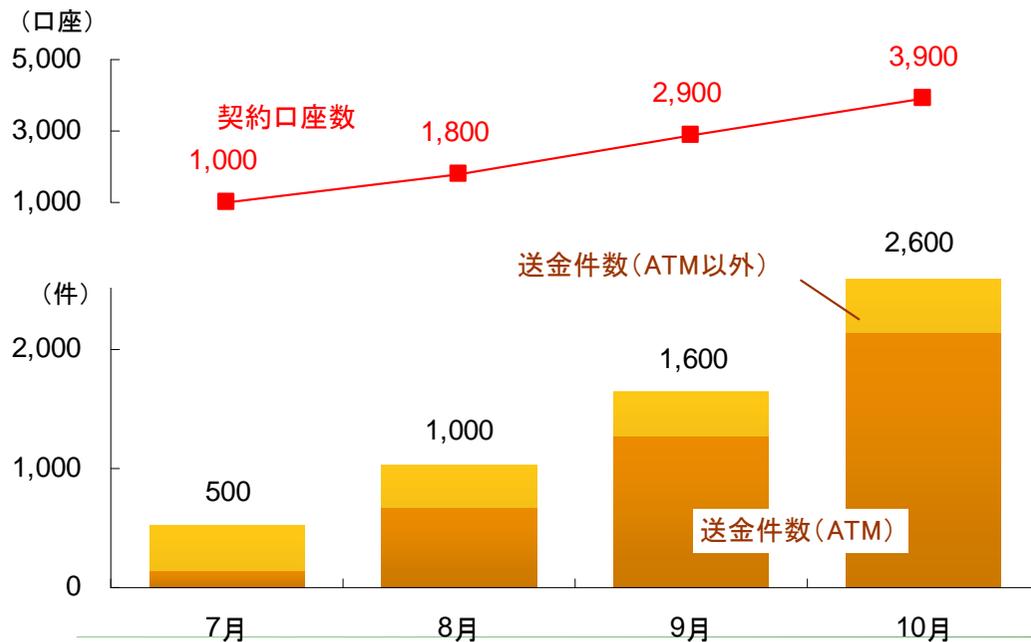


## 海外送金サービスの状況

2011年3月 インターネット・モバイルバンキングでサービス開始

2011年7月 ATMでのサービスを開始

- ・首都圏中心の職域営業により契約口座数を着実に積み上げ（下期は全国へ拡大）
- ・直近（2011年10月）件数の80%以上がATMでの取引 ⇒ATMで24時間365日取引できることが当社の強み

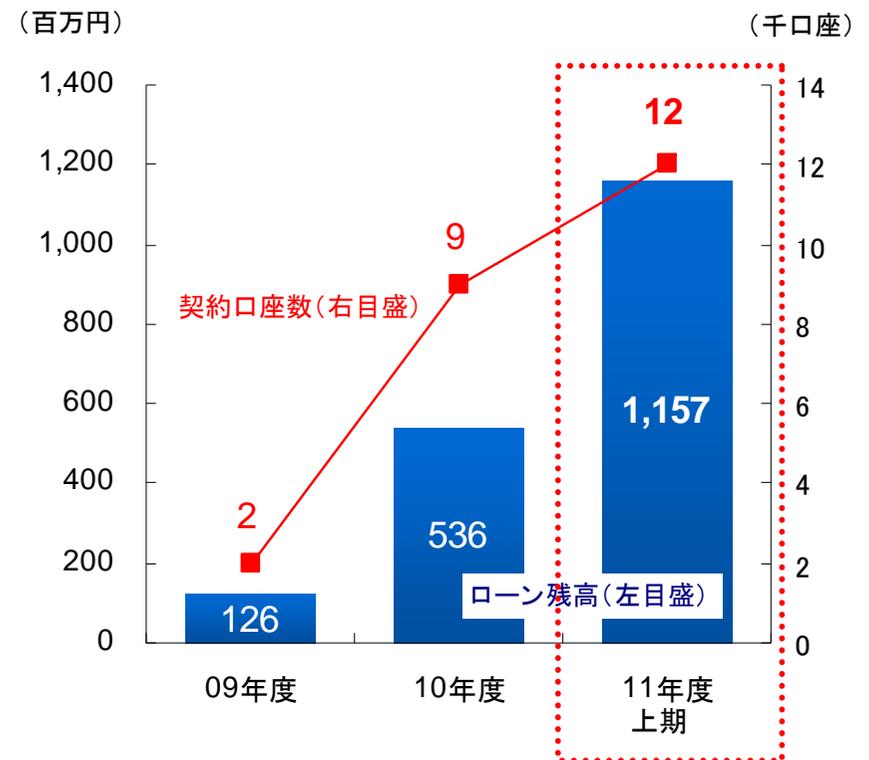


## 個人向けローンサービスの状況

2011年6月 10万円から、30万円または50万円までの増額が可能に

※一定条件を満たしたお客さまが対象

- ・ご利用限度額の増額等により残高は順調に増加



# 配当政策

## 方針

継続的な安定配当の実現を目指し、配当性向は年間35%を最低目標に、中間配当及び期末配当の年2回配当を実施する。

## 中間配当

配当金額 : 1株当り2,600円(配当総額30億円)～期初予定通り  
 配当実施日: 2011年12月2日  
 なお、期末配当は2,600円を予定

## 配当金、配当性向の推移



注 08年度から、中間・期末の年2回配当実施